

平成27年度上半期に実施した主な事業【くらし】

孤立ゼロプロジェクト推進事業	<p>地域における見守り活動を促進し、区民が社会的孤立状態になることを防止するため、区内437町会・自治会のうち新たに103町会・自治会から事業開始の申出をいただき、93町会・自治会が「孤立ゼロプロジェクト」高齢者実態調査を実施しました。 【累計】申出：353町会・自治会、調査実施：276町会・自治会（平成27年9月末時点）</p>
地域活動人材養成事業（あだち皆援隊）	<p>地域活動に関心のある方を対象に「あだち皆援隊講座」を実施しました。 開講講座1回、既存のNPOボランティア団体とのマッチング講座を6回実施。 上期講座参加者 延116人 活動体験者 延26人</p>
町会・自治会の活性化支援	<p>町会・自治会の自主防災倉庫設置、会館整備、新規事業に対して助成を行ったほか、区町会・自治会連合会等への運営助成を行いました。</p> <p>自主防災倉庫設置費の助成(3件) 245千円 会館整備費の助成(1件) 2,063千円 新規事業費の助成(2件) 2,000千円 区町会・自治会連合会運営助成(1件) 2,200千円 地区町会・自治会連合会運営助成(25件) 7,460千円 町会・自治会運営助成(434件) 79,957千円 法定手続費の助成(1件) 214千円</p>
介護予防事業（一次予防）	<p>身近な公園や広場などを利用して、誰もが気軽に楽しく健康体力づくりができる各種プログラムを実施しています。</p> <p>「パークで筋トレ」17会場、232回 延参加者数 5,710人 「ウォーキング教室」6コース、6回 延参加者数 193人</p>
介護予防事業（二次予防）	<p>介護予防チェックリストにより把握した介護予防の必要性が高い高齢者に対して、通所型介護予防事業（らくらく教室）を区施設等で実施しました。</p> <p>会場 31か所 回数 31クール 372回（1クール12日間） 参加人数 457人 実施金額：14,844,129円（9/30現在） 年間では、43か所98回行う予定です。</p>
特別養護老人ホーム等の整備助成事業	<p>特別養護老人ホーム等の整備費を助成しました。既存施設の分割補助分で、総額36,257千円です。</p> <p>特別養護老人ホーム「さくら」 16,780千円 16年目/20年 ケアハウスはごろも 19,477千円 16年目/20年</p>
健康あだち21推進事業【糖尿病対策】	<p>ベジタベライフ協力店舗拡大 登録数639店舗（目標達成） 保健師による重症化予防訪問 年間200人程度 対象者：足立区国保40～59歳、平成26年度特定健診結果HbA1c値7%以上の未治療者 区立園での「ベジ・ファースト」実践 健康な永久歯の育成</p>
こころといのちの相談支援事業	<p>初級ゲートキーパー研修の実施 【実施日】8/21 【参加者数】98人 いじめ対策と連動した中学校特別授業の実施 【実施日】4～6月 10校 女性向け相談カードの設置 庁舎内女性トイレ、授乳室等に設置 【実施日】5月～ 【配布枚数】1,890枚</p>

平成27年度上半期に実施した主な事業【くらし】

ワーク・ライフ・バランス推進事業	<p>ワーク・ライフ・バランス推進企業認定式と認定企業経営者と区長との意見交換会(4月21日)を行いました。 新規企業 6社、更新企業 41社</p> <p>足立区しんきん協議会等関係団体との共催により、企業経営者を対象とする経営改革セミナー「企業経営の基盤をつくる」(7月15日)を開催しました。 参加者 24人</p>
ジェネリック医薬品普及事業	<p>ジェネリック医薬品普及のために協議会を開催。被保険者証の一斉更新に合わせ、パンフレット・希望シール・啓発キャラクター掲載の被保険者証用カードケースを全被保険者に配布しました。医師会・歯科医師会・薬剤師会と協働して推進しています。</p> <p>委員謝礼 89千円 (ジェネリック医薬品普及協議会を1回開催) パンフレット・希望シール作成経費 1,437千円 被保険者証用カードケース作成経費 989千円</p>
産学公連携促進事業	<p>区内企業と大学との連携促進を目的として、「技術勉強会」や「産学連携交流会」などの交流事業を6回実施しました。また、東京電機大学に配置した産学連携コーディネーターが区内企業からの技術相談(延べ134件)に対応しました。</p>
中小企業融資事業	<p>区内事業者が必要な事業資金を円滑に調達できるよう、融資のあっせんを行うとともに、経費負担の軽減として利子補給および信用保証料の一部補助を行いました。</p> <p>上半期実績 / 受付期間: 4月1日～9月30日 あっせん件数: 950件 あっせん金額: 48億9,084万円</p>
商店街活動支援事業	<p>地域商業とコミュニティの活性化や観光文化の発展につながり、地域と密接に連携した集客力のあるイベントを主催する商店街等に対して補助を行いました。</p> <p>学園通りフェア(9月27日(日)) 地域の小・中学校、高校、大学、自治会、消防署や税務署など17団体によるサンバカーニバル、マーチングバンドの演奏等の催しを行いました。多くの集客が実現し、地域コミュニティの醸成に寄与しました。</p>
美化推進事業	<p>「花のあるまちかど事業」は、事業啓発物品(花のビュー坊プレート)の配布を区内花店の協力により行うとともに、区内のこども園・幼稚園・保育園や区主催のイベント会場にて展開しました。</p> <p>5月・6月に「春のごみゼロ地域清掃活動」を昨年度に引き続き、全区的に展開しました。</p> <p>迷惑喫煙防止パトロールとして、区内主要6駅の禁煙特定区域を中心に、日暮里・舎人ライナー区内各駅や青井駅、六町駅周辺等でも実施しました。</p>
生活環境保全対策事業 (ごみ屋敷、不法投棄等対策事業)	<p>ごみ屋敷対策 新たに116件の相談を受け(累計500件)、61件を解決改善しました。 また、草刈については、98件の相談を受け、22件が改善しました。 不法投棄総合窓口 通報しやすくするため専用電話(不法投棄110番)を設置し、チラシ配付やHPなどで周知しました。また、私有地等への不法投棄についても、処分方法や防止策の相談を受け付けています。上半期は、6,427個の不法投棄物を処分しました。</p>
自転車の放置対策事業	<p>区内4カ所の移送所と関屋自転車駐車場(平成27年7月から)の5カ所で「不用自転車の無料引き取り事業」を実施し、2,442台(4月～9月)の持ち込みがありました。</p>

平成27年度上半期に実施した主な事業【くらし】

<p>省エネ・創エネの普及促進</p>	<p>省エネ活動や再生可能エネルギーの活用を促進し、地球にやさしい低炭素社会を実現するため、各種補助を行いました。</p> <p>< 補助件数 > 地域消費喚起型省エネ家電製品購入費補助 2,675件 金額100,895,000円 (予算限度に達したため、7月8日受付終了) 太陽光発電システム補助 78件 金額13,509,000円(先着順:400件予定) 太陽熱利用システム補助 0件 金額0円(先着順:10件予定) 省エネ設備改修費補助 44件 金額1,998,000円 (予算限度に達したため、7月31日受付終了) 家庭用燃料電池システム設置費補助 10件 金額1,000,000円 (抽選:前期・後期各10件、前期申請 56件) 小型雨水貯留槽購入費補助 7件 金額49,700円(先着順:15件予定) 施設用LED照明等補助 89件 金額 14,962,000円 (予算限度に達したため、7月7日受付終了)</p>
<p>資源化物行政回収事業</p>	<p>燃やすごみの中には、資源になる紙類が13.5%含まれており、分別徹底を周知するため、「紙資源分別バック」を作成(5,000部)し、イベント等で分別方法や排出方法について周知を行いました。</p> <p>自動回収機による資源化物の回収 ペットボトルと飲料缶の回収を継続して実施しています。ペットボトル(40店舗:314t)、飲料缶(10店舗:28t)を回収しました。</p>
<p>環境学習推進事業</p>	<p>「夏休み子どもエコプロジェクト(小学5年生)」、「キッズISO(小学6年生)」により、各児童が家庭における節電等の実践に取り組みました。</p> <p>中学生を対象に「環境スペシャリスト発掘講座」を実施し、環境関連施設の見学や環境にやさしい生活について考えました。</p> <p>自然観察会(舎人公園)、セミ羽化観察会(坊川、寺地小)、あだち自然体験デー(新田わくわく水辺広場)を実施しました。</p>
<p>環境でつながる自治体連携プロジェクト(自治体連携環境事業)</p>	<p>他の自治体と連携し、環境保全に貢献する取り組みや、体験を実施しました。</p> <p>清掃車のカーボン・オフセット 一年間に区内を走る清掃車が排出する二酸化炭素を新潟県阿賀町の森林整備で増加する二酸化炭素吸収量で埋め合わせるカーボン・オフセットを実施しました。</p> <p>地球環境フェアでの自治体連携 5月に開催した地球環境フェアには、7つの自治体が出展し、それぞれの環境の取り組みをPRしました。また、地球環境フェア開催に伴う二酸化炭素排出量を3つの自治体と連携して、カーボン・オフセットを実施しました。</p> <p>友好自治体での体験 友好自治体である栃木県鹿沼市で、植林、田植え、自然観察、稲刈りを体験しました。</p>